

# 日本人女性の独身者と既婚者を分かつものは何か？ －独身者データと既婚者の振り返りデータによる結婚の決定要因の分析－

鈴木 亘

## 要旨

本稿は、筆者らが独自に実施した「結婚観に関するアンケート」を用いて、日本人女性の独身者および既婚者のデータをプールし、両者の差異がどこにあるのか、結婚の決定要因は何かということ进行分析した。このデータは、個人属性や結婚に関する環境、意識に対して数多くの変数を有していることが特徴である。また、既婚者は結婚相手の交際当時の状況を回答する振り返りデータとなっており、独身者と既婚者が比較可能になるように設計されている。

結婚の決定要因について、プロビットモデルによる推定を行ったが、その結果、結婚の決定要因に関する諸仮説を裏付ける様々な変数が統計的に有意となった。まず、潜在的な交際相手から見た当該女性の魅力（供給面）については、肥満、容姿の悪さ、持病がある場合に、結婚確率が低下する。また、飲酒、パチンコ・パチスロ、ケチと言った習慣も結婚率にマイナスに寄与する。職種に関しては、職を持たない場合に比べ、職があるほど結婚率は高まり、正規職員、パート・アルバイト、派遣・嘱託・契約社員の順に、結婚率が高まる。

一方、需要面については、大卒以上の学歴の場合や仕事の継続年数が高まるほど、結婚率が低下する結果となっており、女性の機会費用が高まるほど、結婚しなくなるという仮説と整合的である。また、往復の通勤時間が長いほど、夜7時以降、朝9時以前の就業時間が長いほど、結婚確率が低くなることから、時間的制約も重要な要因と考えられる。そのほか、両親が恋愛結婚している場合に結婚率が高まり、母親に離婚経験があると結婚率は低くなることから、結婚需要に、両親からのデモンストレーション効果が存在することが示唆される。

マッチングの環境については、毎日顔を合わせる独身の異性数が多いほど、職場や学校以外で独身の異性と会う機会が多いほど、結婚率が高まることが分かった。

## キーワード

少子化、結婚、未婚、機会費用、デモンストレーション効果

## 1. はじめに

我が国の出生者数は、2022年に77万747人（概数）と、初めて80万人を割り込み、過去最低数を更新した。また、近年、やや持ち直しの傾向にあった合計特殊出生率も、2016年の1.44をピークに減少傾向が続いており、2022年には1.26と、過去最低であった2005年の水準に戻っている（図表1）。もちろん、この出生者数、出生率の落ち込みには、2020年から始まったコロ

ナ禍が多少なりとも影響していると思われるが、それにしても少子化の進展があまりに急速である。このため、政府もこの急激な少子化に危機感を強めており、2023年6月には「こども未来戦略方針～次元の異なる少子化対策の実現のための「こども未来戦略」の策定に向けて～」という少子化対策の方針案を閣議決定し、現在、「異次元の少子化対策」として、各種の対策に着手、あるいは準備しているところである。

ところで、少子化問題は、ややもすれば、結婚した夫婦の出生率が低下する問題とされがちであるが、実際には、結婚した夫婦の出生率（完結出生子ども数）は現在も1.90（2021年、国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」）とかなり高い。静止人口を達成するための合計特殊出生率は2.06程度とされるから、1.90との差はわずかである。実は、2.06と現在の合計特殊出生率1.26の間に大きな差が生じる主因は、若い人々が結婚をしないという「未婚化」にあると考えられる<sup>1)</sup>。我が国は、伝統的に非嫡出子の割合が小さく、結婚しないと子どもを出産しない文化なので、未婚化は非常に深刻な問題である。少子化対策として急がれるのは、むしろ、結婚対策であると言っても良いかもしれない。効果的な結婚対策を行うためには、どのような原因で未婚化が起きているのか、どのような政策を行えば若い人々の結婚を増やせるのか、その分析が欠かせない。

しかしながら、我が国においても、少子化の分析は膨大な数の先行研究が存在するものの、結婚や未婚の分析は、特に経済学分野において、やや手薄と言わざるを得ない。伝統的に経済学では、晩婚化や未婚化については、女性の高学歴化や社会進出に伴う機会費用の高まりが原因になっているとの見方が強い<sup>2)</sup>。我が国においても、例えば、樋口・阿部（1999）、高山ほか（2000）など、多くの研究が、機会費用の重要性を実証的に確認している。また、これも広い意味での機会費用と言えるが、実家で親と同居している場合の居心地の良さ（経済面や物理面）が、結婚の障害となっているという留保賃金的な見方として、山田（1999）の（結婚に関する）パラサイト・シングル仮説がある。この点については、北村・坂本（2007）は支持する見方を示しているのに対して、森田（2008）はそれに反する結果を示しており、未だに結論が得られていない。また、我が国で比較的多くの研究が行われているのが、経済的要因や雇用要因（特に男性のケース）が、結婚の決定に大きな影響を与えているという分析である。すなわち、パート・アルバイトやフリーターなど、雇用が不安定な非正規職員の場合には、正規職員に比べて結婚が難しいことや、低賃金・低所得の場合に結婚が困難となることが多くの研究で報告されている（永瀬（2002）、酒井・樋口（2005）、水落（2006）、内閣府（2023））。そのほか、異性と出会う機会の多さや交際を仲介するマッチングメーカーの重要性を示す研究（例えば、岩澤・三田（2005））や、異性との交際に充てる時間的制約が障害となっているという研究もある（中村・佐藤（2010）<sup>3)</sup>。

このように、既に様々な要因が結婚行動に影響していることがわかっているが、アネクドータルに巷で言われている結婚行動の要因はこのほかにも様々なものがあり、さらに多くの要因

- 1) 正確には未婚化とともに晩婚化も少子化の原因であるが、晩婚化はいずれ結婚をするので、長い目で見れば未婚化よりも問題が少ない。
- 2) 結婚の経済学については、Becker（1973）を創始とするといつてよいだろう。その後、この分野では様々な理論や実証研究が行われている。我が国では、八代（1993）、木村・橋木（2008）の第2章がそのエッセンスをわかりやすくまとめている。
- 3) このあたりの文献は、経済学ではなく、社会学や人口学の研究である。

が関係していることが想像される。そこで、この論文では、日本人女性（独身者、既婚者）に対して、様々な個人属性、結婚への意識を尋ねている個票データを用いて、どのような人々が結婚し、どのような人々が結婚していないのかを、虚心坦懐に様々な変数を用いて分析する。

以下、本稿の構成は次の通りである。2節では、本稿で用いるデータの説明を行う。3節は、仮説と分析モデルを提示する。第4節では、まずは表によって、独身者と既婚者の簡単な比較を行った上で、既婚者と独身者のデータをプールし、結婚の決定要因を回帰分析する。5節は結語である。

## 2. データ

本稿で用いるデータは、少し古いが、筆者らが独自に実施した「結婚観に関するアンケート」の個票データである。このアンケート調査は2008年2月に独身者の男女及び既婚者の女性を対象に郵送調査法で行われたものである。対象年齢は20歳から45歳、対象地域は全国である<sup>4)</sup>。サンプル数は、2008年の調査で独身者1155（男性579、女性576）、既婚者535（全て女性）である。本稿の分析では、このうち、独身および既婚の女性を分析対象とする。

この調査の特徴は、極めて多くの個人属性や結婚に対する環境、意識を尋ねていることである。本稿が用いる諸変数だけでも、独身者・既婚者ともに、年齢、本人学歴、背の高さ、肥満度、容姿の自己評価、健康の自己評価、持病の有無、保有金融資産（万円）、借入金（万円）、実資産（万円）、月当たり生活費、自分でできる家事（掃除、洗濯、食事作り、食器洗い、買い物、整理整頓、アイロンかけ、育児、ゴミ分別、子供の送迎、介護、悪い習慣の有無（喫煙、飲酒、競馬・競輪などのギャンブル、パチンコ・パチスロ、浮気癖、虚言癖、借金癖、浪費癖、ケチ、本人の職種（正規職員、パート・アルバイト、派遣・嘱託・契約社員、自営業・家族従事者・内職、無職・家事、学生）、月当たり収入（税込）、当該の仕事の継続年数、仕事の経験年数、週当たり労働時間、往復通勤時間、夜7時以降・朝9時以前の就業時間（週当たり）、育児取得環境良い、職場にある制度（短時間勤務、時差出勤、育児休職、再雇用制度、フレックスタイム、在宅勤務）、父親の年齢、母親の年齢、父親職種（本人と同様の分類）、母親職種（同）、父親学歴、母親学歴、父親年収（税込、年金含む）、母親年収（税込、年金含む）、親と同居、兄弟の数、父親離婚経験、母親離婚経験、両親恋愛結婚、18歳時点で片親もしくは両親なし、18歳時点で両親の仲の良さ、18歳時点で家庭の裕福さ、18歳時点で住宅状況、結婚相手に求める条件とその程度（年収、就業形態、学歴、年齢、身長、体型、容姿、性格、趣味の一致、親の同居についての意向、健康状態）、希望子供数、交際環境（よく話をする独身の異性数、毎日顔を合わせる独身の異性数、独身の異性と親しくなるきっかけの頻度、職場や学校以外で独身の異性と会う機会の頻度、交際や恋愛について気軽に相談できる人の数、異性紹介やお見合いを進める人の数、異性の紹介・出会い（上司から、取引先から、同僚から、職場以外の友人から、家族や親せきから、事業者等のイベント、お見合い、結婚相談所、事業者のマッチングサービス、ネットのマッチングサービス、自治体・NPOの出会い事業、所属企業

4) 国勢調査の都道府県人口割合に近くなるように、モニターの対象サンプルを割り付けている。株式会社インテージのモニターを対象としている。

の紹介サービス、出会い系サイト、出会い目的のパーティーやイベント、モチベーションを高めるカウンセリング、付き合い方、魅力アップのカウンセリング)、同棲経験などの膨大な項目がある。

これらの諸変数について、独身者と既婚者間の比較を可能にするため、既婚者については振り返りデータにしている。つまり、既婚者の質問を、「現在の配偶者と交際開始の1年前」、あるいは「現在の配偶者と交際を開始した頃の状況」について回答してもらっている。独身者はもちろん、アンケート調査時点の状況について回答してもらっているが、既婚者もなるべく、独身者と近い状況の時点での回答をしてもらっているため、どのような人々が既婚者になるか、独身者になるかという分析が可能になると考えられる。

本稿で用いる諸変数の記述統計は図表2の通りである。図表3、4には、それぞれ独身者、既婚者に分けた記述統計を提示している。

### 3. 分析モデル

本稿の分析手法はシンプルである。独身者と既婚者のデータをプールし、被説明変数として既婚者を1、独身者を0とするプロビットモデルを、様々な個人属性や環境・意識変数を説明変数として推定し、結婚の決定要因を探るというものである。

結婚の決定要因に関しては、経済学や社会学、人口学等の分野で、様々な理論モデル、実証モデルが存在する。岩澤・三田(2005)に倣って整理すれば、それらは、①供給側の要因、②需要側の要因、③出会いの経路(マッチング・システム)の3つに大きく分類される。

#### (1) 供給面

本稿が用いる諸変数に引き寄せて考えれば、①供給側の要因とは、潜在的な交際相手(男性)から見た分析対象(女性)の魅力を表す説明変数である。まずは、外見の自己評価である。背が低い(5段階評価のうち、下から2つ)、肥満(5段階評価のうち、下から2つ)、容姿悪い(5段階評価のうち、下から2つ)、健康悪い(5段階評価のうち、下から2つ)、持病ありと言った変数があるが、仮説としては、全て負の係数が予想される。また、自分でできる家事(自分でできる家事1(掃除)、自分でできる家事2(洗濯)、自分でできる家事3(食事)、自分でできる家事4(食器洗い)、自分でできる家事5(買い物)、自分でできる家事6(整理整頓)、自分でできる家事7(アイロンかけ)、自分でできる家事8(育児)、自分でできる家事9(ゴミ分別)、自分でできる家事10(子供の送迎)、自分でできる家事11(介護))については、家事ができるほど結婚相手としての魅力が増すと考えられることから、正の係数が期待できる。

さらに、悪い生活習慣の有無(習慣1(喫煙)、習慣2(飲酒)、習慣3(競馬・競輪などのギャンブル)、習慣4(パチンコ・パチスロ)、習慣5(浮気癖)、習慣6(虚言癖)、習慣7(借金癖)、習慣8(浪費癖)、習慣9(ケチ))は、全て魅力が下がると考えられるため、負の係数が予想される。本人の職種(本人職種1(正規職員)、本人職種2(パート・アルバイト)、本人職種3(派遣・嘱託・契約社員)、本人職種4(自営業・家族従事者・内職)、本人職種5(無職・家事)、本人職種6(学生))については、本人職種5(無職・家事)、本人職種6(学生)をベンチマークとするダミー変数とするが、どのような符号となるかは先験的にはわから



ない。職に就いている方が、所得獲得能力が高まる魅力があると考えれば、職を持つ諸変数は正の係数が期待できる。また、一般に、正社員ほど係数が高くなるだろう。一方で、専業主婦としての家事や育児の能力に魅力があるならば、職を持つ諸変数の係数は負の符号になる可能性もある。

## (2) 需要面

もっとも、職種に関しては、②需要側の要因、つまり、本人の結婚需要に関する説明変数とみることでもできる。例えば、職を持っているほど、結婚資金や結婚後の安定的な生活が期待できることから、結婚需要が高まる可能性がある。

他に需要側の説明変数として重要なものは、1節で説明した機会費用に関するものがある。Becker (1973) に始まる経済学の標準的理論では、女性の社会進出が進み、結婚や出産に対する機会費用が高まってきたことが、結婚率低下や出生率低下の要因とされる。機会費用を表す変数としては、まず、学歴（大卒以上）、月当たり収入（税込）、当該の仕事の継続年数、仕事の経験年数<sup>5)</sup>が挙げられる。機会費用仮説が正しければ、これらの説明変数の係数は負の値となるだろう。ただ、例えば、月当たり収入に関しては、先に職種のところでも説明したように、その値が高いほど、結婚資金や結婚後の安定的な生活が期待できることから、結婚需要が高まるという可能性もある。その場合は、係数が正となるだろう。本人の持つ金融資産、借入金<sup>6)</sup>、実物資産といった資産に関する変数も、広い意味での機会費用に関する変数とみることでも可能であるが、月当たり収入と同様の側面があるし、潜在的な結婚相手からみた魅力として、供給要因と考えることもできる。

さらに、既にふれたように、長時間労働や通勤によって、結婚相手探しや交際時間に割ける時間に制約があると、結婚率が低下すると考えられる。週当たり労働時間、往復通勤時間、夜7時以降・朝9時以前の就業時間（週当たり）を、時間制約に関する説明変数とすると、その係数は負が期待される。同様に、結婚して出産をした場合、育休をしっかりと取得できたり、子どもができた場合に、柔軟な働き方ができる職場環境かどうかということも重要な結婚の決定要因である。なぜならば、我が国の場合は、既に述べたように、出産と結婚が強く結びついているからである。育休取得環境良い、職場の制度1（短時間勤務）、職場の制度2（時差出勤）、職場の制度3（育児休職）、職場の制度4（再雇用制度）、職場の制度5（フレックスタイム）、職場の制度6（在宅勤務）などの説明変数は、結婚率に対して正の影響を与えると考えられる。

次に、女性の実家の家庭環境も、結婚需要に影響すると考えられる。例えば、実家が裕福であるかどうか、両親が定職についているかどうかということは、結婚した後のサポートが期待できるという意味で、結婚率に正の影響を与える可能性がある。ただ、逆に、既に同居していたり、両親から独身生活の経済的サポートを受けるなどして、結婚に対する機会費用（留保賃金）を上げている場合には、負の影響があることも考えられる。こうした家庭環境の説明変数としては、父親の年齢、母親の年齢、父親職種1（正規職員）、父親職種2（パート・アルバイト）、父親職種3（派遣・嘱託・契約社員）、父親職種4（自営業・家族従事者・内職）、父

5) ただし、仕事の経験年数は、無職・家事や学生には尋ねていないことから、彼女たちの仕事の経験年数を一律にゼロとせざるを得ず、正確性にやや問題がある。したがって、本稿の回帰分析には用いていない。

6) 借入金は逆の資産である。金融資産から差し引いて、ネットの金融資産を見てもよいかもしれない。

親職種 5 (無職・家事), 父親職種 6 (学生), 母親職種 1 (正規職員), 母親職種 2 (パート・アルバイト), 母親職種 3 (派遣・嘱託・契約社員), 母親職種 4 (自営業・家族従事者・内職), 母親職種 5 (無職・家事), 母親職種 6 (学生), 父親学歴 (大卒以上), 母親学歴 (大卒以上), 父親年収 (税込, 年金含む), 母親年収 (税込, 年金含む), 親と同居, 兄弟の数をを用いることにする。

さらに, 女性が結婚して家庭を作ることに憧れがある場合には, 結婚に対する需要が高まるはずである。家庭に対するあこがれは, 身近なロールモデルである両親の姿から生じる可能性が高いため, 両親のデモンストレーション効果として, 父親離婚経験, 母親離婚経験, 両親恋愛結婚, 18歳時点で片親もしくは両親なし, 18歳時点で両親の仲が非常に良い, 18歳時点で貧しい (中の下以下), 18歳時点で持ち家居住という説明変数を用いることにする。

需要面としては, 結婚相手に求める条件も重要な説明変数である。本稿が用いるアンケートでは, 様々なカテゴリーについて, それを重視する程度を訪ねているので, 非常に重視すると答えた場合を 1 とするダミー変数とした。すなわち, 相手の条件を非常に重視 1 (年収), 相手の条件を非常に重視 2 (就業形態), 相手の条件を非常に重視 3 (学歴), 相手の条件を非常に重視 4 (年齢), 相手の条件を非常に重視 5 (身長), 相手の条件を非常に重視 6 (体型), 相手の条件を非常に重視 7 (容姿), 相手の条件を非常に重視 8 (性格), 相手の条件を非常に重視 9 (趣味の一致), 相手の条件を非常に重視 10 (親の同居についての意向), 相手の条件を非常に重視 11 (健康状態) である。よく言われるように, 相手に求める条件にこだわりすぎると, 結婚は難しくなるだろう。また, 希望子供数も, 子どもがたくさんほしい人ほど結婚需要が高いと考えられるので, 説明変数に加えた。

### (3) マッチング・システム

説明変数としての最後のカテゴリーは, 出会いの経路 (マッチング・システム) に関わる諸変数である。本稿の分析に用いるデータでは, 交際環境や異性の紹介・出会い, 結婚サービスの利用状況について数多くの質問をしている。具体的な変数は, 交際環境 1 (よく話をする独身の異性数), 交際環境 2 (毎日顔を合わせる独身の異性数), 交際環境 3 (独身の異性と親しくなるきっかけ多い), 交際環境 4 (職場や学校以外で独身の異性と会う機会多い), 交際環境 5 (交際や恋愛について気軽に相談できる人の数), 交際環境 6 (異性紹介やお見合いを進める人の数), 異性の紹介・出会い 1 (上司から), 異性の紹介・出会い 2 (取引先から), 異性の紹介・出会い 3 (同僚から), 異性の紹介・出会い 4 (職場以外の友人から), 異性の紹介・出会い 5 (家族や親せきから), 異性の紹介・出会い 6 (事業者等のイベント), 異性の紹介・出会い 7 (お見合い), 結婚サービスの利用 1 (結婚相談所), 結婚サービスの利用 2 (事業者のマッチングサービス), 結婚サービスの利用 3 (ネットのマッチングサービス), 結婚サービスの利用 4 (自治体, NPO の出会い事業), 結婚サービスの利用 5 (所属企業の紹介サービス), 結婚サービスの利用 6 (出会い系サイト), 結婚サービスの利用 7 (出会い目的のパーティーやイベント), 結婚サービスの利用 8 (モチベーションを高めるカウンセリング), 結婚サービスの利用 9 (付き合い方, 魅力アップのカウンセリング) である。交際環境 1, 2, 5, 6 以外は全て, 当てはまる場合に 1, そうでない場合に 0 となるダミー変数とする。それぞれ, 結婚機会を高めるものなので, 係数は正となることが期待される。また, 同棲経験の有無に関するダミー変数も説明変数としているが, これはもちろん, 正の係数を期待している。つまり,

八代（1993）が指摘しているように、同棲経験があるほど、交際相手への情報量が高まり、結婚の決断に結び付きやすいと考えられるからである。

最後に、年齢の変数であるが、比較の時点を近づけるため、独身者は現在の年齢、既婚者は結婚時の年齢をとることにした。このため、本来は両方とも20歳から45歳のサンプルであったものが、既婚者のサンプルが全体に若くなるという偏りが生じている。そこで、両者のサンプルをなるべく近づけるために、20歳から41歳（既婚者の最大値）のサンプルに両者とも区切ることとした。年齢の変数は、年齢が高くなるほど結婚率が増すが、その増加率は年齢が高くなるほど小さくなると思われるので、年齢の2乗項も説明変数に加えた。

## 4. 分析結果

### (1) 表による分析

前節で述べた分析モデル（プロビットモデル）を推定する前に、主要な説明変数について、独身者と既婚者の状況を単純比較しておこう。まず、図表5は外見などの自己評価を比較したものである。独身者の方が、背が低い、肥満、容姿が悪い、健康悪い、持病ありの全ての変数について、該当する割合が高いことがわかる。あくまで自己評価なので、実際の外見などが独身者の方が悪いとは限らないが、少なくとも、自己評価としては、独身者の方が低い評価となっている。

次に、図表6は悪い習慣を持っている割合を見たものであるが、総じてみて、独身者と既婚者の間に大きな差異があるようには見えない。習慣8（浪費癖）、習慣9（ケチ）は独身者の方が割合が高いが、逆に、習慣1（喫煙）、習慣3（競馬・競輪などのギャンブル）は既婚者の方が割合が高い。

図表7は職種である。既婚者の方が正規職員である割合がかなり高いことがわかる。独身者は非正規や無職の割合が高く、男性と同様、雇用状況（職種の違い）が、結婚に少なからず影響を与えている可能性がある。

図表8は、機会費用に関する諸変数の比較である。まず、予想通り、独身者の方が大卒以上の学歴者が多く、月当たり収入、生活費も多い<sup>7)</sup>。当該の仕事の継続年数、仕事の経験年数も長く、金融資産（ネット、グロスとも）、実物資産も多い。意外なのは、親との同居率が、既婚者の方がやや高いことである。

図表9の時間的制約に関係する変数では、意外なことに、既婚者の方が労働時間も通勤時間も長い。しかし、夜7時以降、朝9時以前の就業時間は、独身者の方がやや長い。

図表10は相手に求める条件である。総じてみて、あまり独身者と既婚者の間の違いは無いようであるが、独身者の方が年収や就業形態を重視している割合が高い。希望こども数は予想通り、既婚者の方が多い。

図表11は、両親からのデモンストレーション効果に関する諸変数の比較である。独身者の方が両親の離婚経験の割合が高いことがわかる。両親が恋愛結婚、18歳時点で両親の仲が良いと

7) 生活費は所得と相関が高いため、回帰分析には用いていない。

する比率は、やはり既婚者で高い。

図表12は、職場環境に関する諸変数の比較である。意外であるが、独身者の方がファミリーフレンドリーな企業に勤めている比率が高い。これは、既婚者が務めていた時期が、独身者よりも前であるため、諸制度の普及率の時期的な違いを反映してしまっている可能性がある。

図表13は、交際環境に関する諸変数であるが、やはり、既婚者の方が、総じて異性と出会う機会が多いことがわかる。一方、相談相手や異性の紹介・お見合いを勧める人の数は独身者の方がやや多い。

図表14は、異性の紹介・出会いのルートであるが、総じてみて、それほど顕著な差があるとは言えない。既婚者の方が、勤め先関係の紹介がやや多いことがわかる。

図表15は、結婚サービスの利用状況であるが、総じてみて、独身者の方が様々なサービスの利用比率が高い。一方、婚相談所の利用は既婚者の方が多い。

## (2) 回帰分析

以上、様々な変数を独身者と既婚者で個別に比較してきたが、これらが最終的に結婚の決定要因であるかどうかは、諸変数を同時にコントロールした上で判断する必要がある。そこで、前節で説明したプロビットモデルを用いて、全ての変数を同時にコントロールした回帰分析を行った。なお、独身者と既婚者の割合は、データの設計上、ほぼ同数ずつになるようにサンプリングしているが、現実には異なる。そこで、2010年の国勢調査より、都道府県別の未婚率・既婚率計算し、それを使ってサンプリング・ウェイトを修正した推定を行った。推定結果は、図表16の通りである。

まず、年齢であるが、1乗項、2乗項ともに有意であり、年齢が高まるほど、既婚率が増えるが、その増え方は年齢が高まるほど小さくなってゆくことがわかる。係数から限界効果も計算しているが、1乗項の限界効果をみると、年齢が1歳高まるほど4.8%、結婚率が高まることわかる<sup>8)</sup>。外見などの自己評価では、肥満が有意であり、肥満であると8.6%も結婚率が減少する。そのほか、容姿が悪い場合、持病がある場合にも、結婚率は減少することがわかる。

家事については、掃除やアイロンかけができると結婚率が高まる一方、選択、育児、子どもの送迎、介護ができると結婚率が逆に減少するという結果となった。この理由についてはよくわからないが、あくまで自己評価の家事能力であるから、解釈には一定の留意が必要である。

悪い習慣については、飲酒、パチンコ・パチスロ、ケチと言った習慣が結婚率にマイナスに寄与する一方、なぜか、喫煙、浮気癖は結婚率を高める結果となっている。例えば、浮気癖があるということは、前提として、女性としての魅力がそれだけあるということであろうから、女性としての魅力の代理変数となってしまった可能性がある。

職種に関しては、職を持たない場合（無職・家事と学生）をベンチマークとしているが、やはり、職があるほど結婚率は高まる。一番、結婚率が高いのは正規職員であり、ベンチマークに比べて17.6%も結婚率が高い。次いで、パート・アルバイト（13.6%）、派遣・嘱託・契約社員（12.2%）の順となっている。この結果については、二通りの解釈（あるいは両方とも当てはまる）があるだろう。一つは、安定的な職についているほど、結婚後の生活安定が展望できるために、結婚需要が高まるということである。そして、交際相手としての男性としても、今

8) もちろん、2乗項があるので、限界効果は年齢が高まるほど減少してゆく。



や共働きが当たり前となっている状況では、安定的な職を持つ女性に魅力を感じている可能性がある。

機会費用関係の説明変数については、まず、大卒の場合に、11.5%も結婚確率が低くなることがわかる<sup>9)</sup>。そのほかでは、当該の仕事の継続年数が高まるほど、結婚確率が低くなるのが注目される。やはり、機会費用仮説は一定の説明力があるものと思われる。

時間的な制約については、往復の通勤時間が長いほど、夜7時以降、朝9時以前の就業時間が長いほど、結婚確率が低くなる。中村・佐藤(2010)の時間的制約仮説と整合的である。

ただ、職場環境については、育休取得環境が良い場合に結婚確率が高まるが、短時間勤務がある場合、再雇用制度がある場合には逆に結婚率が低くなっており、解釈は一通りではない。

家庭環境については、父親の年収が高いほど結婚確率が高まることから、森田(2008)と整合的な結果が得られている。親と同居については、10%基準で正に有意であり、やはり、森田(2008)の結果と整合的であり、パラサイト・シングル仮説とは矛盾する結果と言える。もっとも、父親の学歴が高いと結婚確率が低くなるという結果や、18歳時点で持ち家に居住している場合には結婚率が低くなる点は、やや解釈が難しい。

両親のデモンストレーション効果については、非常に顕著である。すなわち、両親が恋愛結婚の場合、結婚率が約10.5%も高まる結果である。また、母親に離婚経験があると、結婚率は低くなる。

結婚相手への条件については、年収や身長、健康状態を重視する場合に結婚率が下がっている。これは、条件を満たそうとすると、結婚相手の選択が狭まり、結婚のハードルが高くなるということであろう。ただ、学歴については重視すると、かえって結婚率が高まるという結果であり、この点は解釈が難しい。また、予想通り、希望こども数が多いほど、結婚率は高まる。

交際環境については、毎日顔を合わせる独身の異性数が多いほど、職場や学校以外で独身の異性と会う機会が多いほど、結婚率が高まる結果であり、マッチング・システムの重要性が確認できる。もっとも、異性紹介やお見合いを勧める人の数が多いと、結婚率が下がるという結果もある。おそらく、これは因果関係が逆で、結婚が難しそうな人ほど、異性紹介やお見合いを勧める人が多くなることを示しているのではないだろうか<sup>10)</sup>。また、異性の紹介・出会いや結婚サービスの利用に関しては、ほとんど有意な変数は見つからなかった。一つだけ、出会い系サイトを利用している場合は結婚確率が低いという結果となっている。2008年当時、出会い系サイトを利用する人自体は少なく、出会い系サイトまで利用している人はそれだけ交際相手を見つけることが難しいという側面があったのではないかと思われる<sup>11)</sup>。もっとも、現在は、出会い系サイトやマッチング・アプリの利用が盛んであるから、これは現在に当てはまる結果とは思われない。

なお、推定における不均一分散の修正は、都道府県別の独身者・既婚者のサンプリング・ウェイトの修正だけで止まらない可能性があるため、念のため、ロバスト推定も行ったが(図表17)、結果は図表16の結果とほぼ同様である。

9) ただ、これは機会費用だけを反映しているのではなく、大卒の学歴を得るためにはその分、年齢が高くなるので、年齢に対して既婚率が低いという物理的側面が現れている可能性もある。

10) もっとも、これは内生性があることを意味するから、本来は、捜査変数法などで適切な推定をする必要がある。

11) この点も内生性を意味することから、適切な推定方法を工夫する必要がある。

## 5. 結語

本稿は、筆者らが独自に実施した「結婚観に関するアンケート」を用いて、日本人女性の独身者および既婚者のデータをプールし、両者の差異がどこにあるのか、結婚の決定要因は何か、という点を分析した。このデータは、個人属性や結婚に関する環境・意識に対して数多くの変数を有していることが特徴である。また、既婚者は結婚相手の交際当時の状況を振り返るデータとなっており、独身者と既婚者が比較可能になるように設計されている。

結婚の決定要因について、プロビットモデルによる推定を行ったが、その結果、結婚の決定要因に関する諸仮説を裏付ける様々な変数があり有意となった。まず、潜在的な交際相手から見た当該女性の魅力（供給面）については、肥満、容姿の悪さ、持病がある場合に、結婚率が低下する。また、飲酒、パチンコ・パチスロ、ケチと言った習慣も、結婚率にマイナスに影響する。職種に関しては、職を持たない場合（無職・家事と学生）に比べ、職があるほど結婚率は高まり、正規職員、パート・アルバイト、派遣・嘱託・契約社員の順に、結婚率が高くなる。

一方、需要面については、大卒以上の学歴の場合や仕事の継続年数が高まるほど、結婚確率が低下するという結果が得られており、女性の機会費用が高まるほど、結婚の障害になることがうかがえる。また、往復の通勤時間が長いほど、夜7時以降、朝9時以前の就業時間が長いほど、結婚確率が低くなることから、時間的制約も重要な要因である。そのほか、両親が恋愛結婚している場合に結婚率が高まり、母親に離婚経験があると、結婚率は低くなる。これは、結婚へのあこがれ（需要）に、両親からのデモンストレーション効果が存在することが示唆される。

マッチングの環境については、毎日顔を合わせる独身の異性数が多いほど、職場や学校以外で独身の異性と会う機会が多いほど、結婚率が高まることがわかった。異性が出会う機会を多くすることが、結婚率を高めるために有効であることがうかがえる。

もっとも、これらの仮説と矛盾する結果も一部で得られていることから、さらなる精査が必要と思われる。また、本稿の分析に用いたデータは、既に15年ほど前のデータであることから、再度、同様な調査を行い、最新の状況にキャッチアップした分析を行うことが必要であろう。いずれにせよ、本稿のような分析を通じて、何をすれば結婚率が増すかというエビデンスを積み上げ、効果的な結婚促進政策を立案することが重要である。

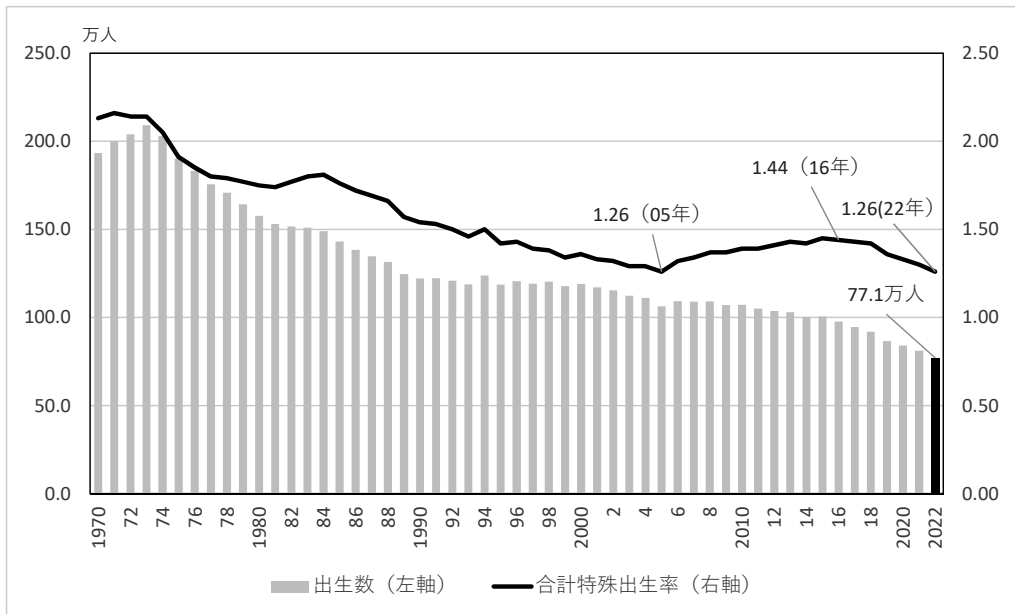
### <参考文献>

- 岩澤美帆・三田房美（2005）「職縁結婚の盛衰と未婚化の進展」『日本労働研究雑誌』535, 16-28.  
北村行伸・坂本和靖（2007）「世代間関係から見た結婚行動」『経済研究』Vol.58(1), 31-46.  
高山憲之・小川浩・吉田浩・有田富美子・金子能宏・小島克久（2000）「結婚・育児の経済コストと出生力少子化の経済的要因に関する一考察」『人口問題研究』第56巻第4号, 1-18.  
橋木俊詔・木村匡子（2008）『家族の経済学—お金と絆のせめぎあい』NTT出版  
内閣府（2023）『経済財政白書～動き始めた物価と賃金～（令和5年版）』  
中村真由美・佐藤博樹（2010）「なぜ恋人にめぐり合えないのか？ 経済的要因・出会いの経路・対人関係能力の側面から」佐藤博樹・永井暁子・三輪哲（2010）『結婚の壁—非婚・晩婚の構造』勁草書

房, 54-73

- 永瀬伸子 (2002) 「若年層の雇用の非正規化と結婚行動」『人口問題研究』第58巻第2号, 22-35.
- 樋口美雄・阿部正浩 (1999) 「経済変動と女性の結婚・出産・就業のタイミング」樋口雄・岩田正美編著『パネルデータからみた現代女性』東洋経済新報社, 25-65.
- 酒井正・樋口美雄 (2005) 「フリーターのその後：就業・所得・結婚・出産」『日本労働研究雑誌』535, 19-41.
- 森田陽子 (2008) 「女性の初婚確率の決定要因の分析について－父親の所得か夫の所得か－」『オイコノミカ』第45巻第2号, 25-40.
- 山田昌弘 (1999) 『パラサイト・シングル時代』筑摩書房.
- 水落正明, 2006, 「学卒直後の雇用状態が結婚タイミングに与える影響」『生活経済学研究』22-23, 167-176.
- 八代尚宏 (1993) 『結婚の経済学－結婚とは人生における最大の投資』二見書房.
- 山田昌弘 (1999) 『パラサイト・シングル時代』筑摩書房.
- Becker, Gary (1973) “A theory of marriage Part I,” *Journal of Political Economy*, 81,813-846.

図表1 出生数と合計特殊出生率の推移



注) 厚生労働省「人口動態統計」(各年版)より。

図表2 記述統計1 (全体)

	N	平均値	標準偏差	最小値	最大値
既婚者	962	0.486	0.500	0	1
年齢	969	26.964	4.976	20	41
年齢2乗	969	751.790	294.772	400	1681
本人学歴 (大卒以上)	959	0.386	0.487	0	1
背が低い	964	0.184	0.387	0	1
肥満	963	0.216	0.412	0	1
容姿悪い	950	0.219	0.414	0	1
健康悪い	962	0.084	0.278	0	1
持病あり	958	0.102	0.303	0	1
金融資産 (万円)	897	196.099	476.023	0	10000
借入金 (万円)	940	25.030	155.366	0	2000
実物資産 (万円)	935	33.991	261.508	0	3700
月当たり生活費	894	10.883	8.301	0	182
自分でできる家事1 (掃除)	967	0.753	0.432	0	1
自分でできる家事2 (洗濯)	967	0.827	0.378	0	1
自分でできる家事3 (食事)	967	0.543	0.498	0	1
自分でできる家事4 (食器洗い)	967	0.898	0.303	0	1
自分でできる家事5 (買い物)	967	0.849	0.358	0	1
自分でできる家事6 (整理整頓)	967	0.565	0.496	0	1
自分でできる家事7 (アイロンかけ)	967	0.610	0.488	0	1
自分でできる家事8 (育児)	967	0.244	0.430	0	1
自分でできる家事9 (ゴミ分別)	967	0.644	0.479	0	1
自分でできる家事10 (子供の送迎)	967	0.299	0.458	0	1
自分でできる家事11 (介護)	967	0.104	0.306	0	1
習慣1 (喫煙)	957	0.183	0.387	0	1
習慣2 (飲酒)	957	0.280	0.449	0	1
習慣3 (競馬・競輪などのギャンブル)	957	0.013	0.111	0	1
習慣4 (パチンコ・パチスロ)	957	0.048	0.214	0	1
習慣5 (浮気癖)	957	0.014	0.116	0	1
習慣6 (虚言癖)	957	0.014	0.116	0	1
習慣7 (借金癖)	957	0.008	0.091	0	1
習慣8 (浪費癖)	957	0.107	0.309	0	1
習慣9 (ケチ)	957	0.098	0.298	0	1
本人職種1 (正規職員)	947	0.566	0.496	0	1
本人職種2 (パート・アルバイト)	947	0.090	0.286	0	1
本人職種3 (派遣・嘱託・契約社員)	947	0.119	0.324	0	1
本人職種4 (自営業・家族従事者・内職)	947	0.017	0.129	0	1
本人職種5 (無職・家事)	947	0.033	0.178	0	1
本人職種6 (学生)	947	0.175	0.380	0	1
月当たり収入 (税込)	941	18.020	20.691	0	300
当該の仕事の継続年数	967	3.150	3.708	0	22
仕事の経験年数	967	4.780	5.224	0	38
週当たり労働時間	963	30.517	21.510	0	90
往復通勤時間	969	0.724	0.759	0	5
夜7時以降、朝9時以前の就業時間 (週当たり)	960	4.060	5.586	0	20
育休取得環境良い	965	0.184	0.388	0	1
職場の制度1 (短時間勤務)	966	0.122	0.328	0	1
職場の制度2 (時差出勤)	966	0.110	0.313	0	1
職場の制度3 (育児休職)	966	0.304	0.460	0	1
職場の制度4 (再雇用制度)	966	0.108	0.310	0	1
職場の制度5 (フレックスタイム)	966	0.086	0.280	0	1
職場の制度6 (在宅勤務)	966	0.007	0.085	0	1



日本人女性の独身者と既婚者を分かつものは何か？  
 - 独身者データと既婚者の振り返りデータによる結婚の決定要因の分析 - (鈴木)

続き

	N	平均値	標準偏差	最小値	最大値
父親の年齢	969	64.981	8.131	35	88
母親の年齢	950	62.054	7.621	35	84
父親職種 1 (正規職員)	940	0.519	0.500	0	1
父親職種 2 (パート・アルバイト)	940	0.028	0.164	0	1
父親職種 3 (派遣・嘱託・契約社員)	940	0.048	0.214	0	1
父親職種 4 (自営業・家族従事者・内職)	940	0.228	0.420	0	1
父親職種 5 (無職・家事)	940	0.106	0.308	0	1
父親職種 6 (学生)	940	0.000	0.000	0	0
母親職種 1 (正規職員)	946	0.167	0.373	0	1
母親職種 2 (パート・アルバイト)	946	0.268	0.443	0	1
母親職種 3 (派遣・嘱託・契約社員)	946	0.027	0.164	0	1
母親職種 4 (自営業・家族従事者・内職)	946	0.156	0.363	0	1
母親職種 5 (無職・家事)	946	0.345	0.475	0	1
母親職種 6 (学生)	946	0.000	0.000	0	0
父親学歴 (大卒以上)	969	0.315	0.465	0	1
母親学歴 (大卒以上)	969	0.096	0.295	0	1
父親年収 (税込、年金含む)	816	538.603	369.769	0	1500
母親年収 (税込、年金含む)	822	153.346	189.419	0	1500
親と同居	969	0.690	0.463	0	1
兄弟の数	965	1.370	0.849	0	8
父親離婚経験	960	0.068	0.251	0	1
母親離婚経験	943	0.066	0.248	0	1
両親恋愛結婚	963	0.492	0.500	0	1
18歳時点で片親もしくは両親なし	967	0.083	0.276	0	1
18歳時点で両親の仲が非常に良い	968	0.236	0.425	0	1
18歳時点で貧しい(中の下以下)	968	0.255	0.436	0	1
18歳時点で持ち家居住	966	0.820	0.384	0	1
相手の条件を非常に重視 1 (年収)	964	0.095	0.294	0	1
相手の条件を非常に重視 2 (就業形態)	964	0.465	0.499	0	1
相手の条件を非常に重視 3 (学歴)	965	0.074	0.261	0	1
相手の条件を非常に重視 4 (年齢)	964	0.072	0.258	0	1
相手の条件を非常に重視 5 (身長)	966	0.071	0.258	0	1
相手の条件を非常に重視 6 (体型)	965	0.083	0.276	0	1
相手の条件を非常に重視 7 (容姿)	960	0.043	0.202	0	1
相手の条件を非常に重視 8 (性格)	964	0.824	0.381	0	1
相手の条件を非常に重視 9 (趣味の一致)	965	0.224	0.417	0	1
相手の条件を非常に重視10 (親の同居についての意向)	965	0.360	0.480	0	1
相手の条件を非常に重視11 (健康状態)	966	0.570	0.495	0	1
希望子供数	956	1.950	0.887	0	5
交際環境 1 (よく話をする独身の異性数)	964	2.860	1.786	0	6
交際環境 2 (毎日顔を合わせる独身の異性数)	967	3.517	2.197	0	6
交際環境 3 (独身の異性と親しくなるきっかけ多い)	967	0.336	0.473	0	1
交際環境 4 (職場や学校以外で独身の異性と会う機会多い)	967	0.238	0.426	0	1
交際環境 5 (交際や恋愛について気軽に相談できる人の数)	964	2.874	1.611	0	6
交際環境 6 (異性紹介やお見合いを勧める人の数)	964	1.272	1.499	0	6
異性の紹介・出会い 1 (上司から)	951	0.061	0.239	0	1
異性の紹介・出会い 2 (取引先から)	951	0.045	0.208	0	1
異性の紹介・出会い 3 (同僚から)	951	0.183	0.387	0	1
異性の紹介・出会い 4 (職場以外の友人から)	951	0.347	0.476	0	1
異性の紹介・出会い 5 (家族や親せきから)	951	0.127	0.333	0	1
異性の紹介・出会い 6 (事業者等のイベント)	951	0.067	0.251	0	1
異性の紹介・出会い 7 (お見合い)	951	0.059	0.236	0	1
結婚サービスの利用 1 (結婚相談所)	956	0.019	0.136	0	1
結婚サービスの利用 2 (事業者のマッチングサービス)	956	0.019	0.136	0	1
結婚サービスの利用 3 (ネットのマッチングサービス)	956	0.005	0.072	0	1
結婚サービスの利用 4 (自治体、NPOの出会い事業)	956	0.008	0.091	0	1
結婚サービスの利用 5 (所属企業の紹介サービス)	956	0.002	0.046	0	1
結婚サービスの利用 6 (出会い系サイト)	956	0.023	0.150	0	1
結婚サービスの利用 7 (出会い目的のパーティーやイベント)	956	0.081	0.272	0	1
結婚サービスの利用 8 (モチベーションを高めるカウンセリング)	956	0.001	0.032	0	1
結婚サービスの利用 9 (付き合い方、魅力アップのカウンセリング)	956	0.001	0.032	0	1
同様経験	956	0.187	0.390	0	1

図表3 記述統計2 (独身者)

	N	平均値	標準偏差	最小値	最大値
年齢	494	28.221	5.808	20	41
年齢2乗	494	830.067	347.209	400	1681
本人学歴 (大卒以上)	490	0.555	0.497	0	1
背が低い	493	0.217	0.413	0	1
肥満	492	0.276	0.448	0	1
容姿悪い	486	0.263	0.441	0	1
健康悪い	491	0.100	0.300	0	1
持病あり	491	0.134	0.341	0	1
金融資産 (万円)	450	225.093	443.654	0	5000
借入金 (万円)	476	36.267	187.049	0	2000
実物資産 (万円)	473	51.586	324.156	0	3700
月当たり生活費	454	11.863	6.375	0	50
自分でできる家事1 (掃除)	494	0.729	0.445	0	1
自分でできる家事2 (洗濯)	494	0.866	0.341	0	1
自分でできる家事3 (食事)	494	0.567	0.496	0	1
自分でできる家事4 (食器洗い)	494	0.905	0.294	0	1
自分でできる家事5 (買い物)	494	0.891	0.312	0	1
自分でできる家事6 (整理整頓)	494	0.532	0.499	0	1
自分でできる家事7 (アイロンかけ)	494	0.609	0.488	0	1
自分でできる家事8 (育児)	494	0.379	0.486	0	1
自分でできる家事9 (ゴミ分別)	494	0.759	0.428	0	1
自分でできる家事10 (子供の送迎)	494	0.470	0.500	0	1
自分でできる家事11 (介護)	494	0.156	0.363	0	1
習慣1 (喫煙)	487	0.144	0.351	0	1
習慣2 (飲酒)	487	0.267	0.443	0	1
習慣3 (競馬・競輪などのギャンブル)	487	0.008	0.090	0	1
習慣4 (パチンコ・パチスロ)	487	0.045	0.208	0	1
習慣5 (浮気癖)	487	0.012	0.110	0	1
習慣6 (虚言癖)	487	0.014	0.119	0	1
習慣7 (借金癖)	487	0.008	0.090	0	1
習慣8 (浪費癖)	487	0.140	0.347	0	1
習慣9 (ケチ)	487	0.144	0.351	0	1
本人職種1 (正規職員)	482	0.492	0.500	0	1
本人職種2 (パート・アルバイト)	482	0.095	0.294	0	1
本人職種3 (派遣・嘱託・契約社員)	482	0.143	0.351	0	1
本人職種4 (自営業・家族従事者・内職)	482	0.021	0.143	0	1
本人職種5 (無職・家事)	482	0.054	0.226	0	1
本人職種6 (学生)	482	0.195	0.397	0	1
月当たり収入 (税込)	483	18.708	24.835	0	300
当該の仕事の継続年数	493	3.476	4.473	0	22
仕事の経験年数	494	6.097	6.308	0	38
週当たり労働時間	490	27.999	21.367	0	75
往復通勤時間	494	0.692	0.779	0	4
夜7時以降、朝9時以前の就業時間 (週当たり)	491	4.104	5.561	0	20
育児取得環境良い	492	0.232	0.422	0	1
職場の制度1 (短時間勤務)	493	0.172	0.378	0	1
職場の制度2 (時差出勤)	493	0.134	0.341	0	1
職場の制度3 (育児休職)	493	0.355	0.479	0	1
職場の制度4 (再雇用制度)	493	0.158	0.365	0	1
職場の制度5 (フレックスタイム)	493	0.085	0.279	0	1
職場の制度6 (在宅勤務)	493	0.014	0.118	0	1

日本人女性の独身者と既婚者を分かつものは何か？  
 - 独身者データと既婚者の振り返りデータによる結婚の決定要因の分析 - (鈴木)

続き

	N	平均値	標準偏差	最小値	最大値
父親の年齢	494	61.370	7.240	35	86
母親の年齢	480	58.577	6.957	35	83
父親職種 1 (正規職員)	483	0.460	0.499	0	1
父親職種 2 (パート・アルバイト)	483	0.046	0.209	0	1
父親職種 3 (派遣・嘱託・契約社員)	483	0.056	0.230	0	1
父親職種 4 (自営業・家族従事者・内職)	483	0.186	0.390	0	1
父親職種 5 (無職・家事)	483	0.176	0.381	0	1
父親職種 6 (学生)	483	0.000	0.000	0	0
母親職種 1 (正規職員)	485	0.144	0.352	0	1
母親職種 2 (パート・アルバイト)	485	0.291	0.455	0	1
母親職種 3 (派遣・嘱託・契約社員)	485	0.035	0.184	0	1
母親職種 4 (自営業・家族従事者・内職)	485	0.118	0.322	0	1
母親職種 5 (無職・家事)	485	0.367	0.482	0	1
母親職種 6 (学生)	485	0.000	0.000	0	0
父親学歴 (大卒以上)	494	0.407	0.492	0	1
母親学歴 (大卒以上)	494	0.136	0.343	0	1
父親年収 (税込、年金含む)	411	519.100	383.494	25	1500
母親年収 (税込、年金含む)	417	155.636	196.112	25	1500
親と同居	494	0.607	0.489	0	1
兄弟の数	490	1.365	0.853	0	7
父親離婚経験	486	0.076	0.265	0	1
母親離婚経験	473	0.072	0.259	0	1
両親恋愛結婚	490	0.490	0.500	0	1
1 8歳時点で片親もしくは両親なし	492	0.093	0.291	0	1
1 8歳時点で両親の仲が非常に良い	493	0.229	0.421	0	1
1 8歳時点で貧しい(中の下以下)	493	0.223	0.417	0	1
1 8歳時点で持ち家居住	493	0.836	0.371	0	1
相手の条件を非常に重視 1 (年収)	491	0.130	0.337	0	1
相手の条件を非常に重視 2 (就業形態)	490	0.473	0.500	0	1
相手の条件を非常に重視 3 (学歴)	491	0.061	0.240	0	1
相手の条件を非常に重視 4 (年齢)	491	0.071	0.258	0	1
相手の条件を非常に重視 5 (身長)	492	0.065	0.247	0	1
相手の条件を非常に重視 6 (体型)	491	0.084	0.277	0	1
相手の条件を非常に重視 7 (容姿)	490	0.037	0.188	0	1
相手の条件を非常に重視 8 (性格)	490	0.839	0.368	0	1
相手の条件を非常に重視 9 (趣味の一致)	491	0.226	0.419	0	1
相手の条件を非常に重視10 (親の同居についての意向)	492	0.364	0.482	0	1
相手の条件を非常に重視11 (健康状態)	492	0.587	0.493	0	1
希望子供数	492	1.837	0.897	0	4
交際環境 1 (よく話をする独身の異性数)	493	2.809	1.799	0	6
交際環境 2 (毎日顔を合わせる独身の異性数)	494	3.103	2.205	0	6
交際環境 3 (独身の異性と親しくなるきっかけ多い)	494	0.231	0.422	0	1
交際環境 4 (職場や学校以外で独身の異性と会う機会多い)	494	0.150	0.357	0	1
交際環境 5 (交際や恋愛について気軽に相談できる人の数)	491	3.020	1.665	0	6
交際環境 6 (異性紹介やお見合いを勧める人の数)	492	1.277	1.473	0	6
異性の紹介・出会い 1 (上司から)	484	0.048	0.213	0	1
異性の紹介・出会い 2 (取引先から)	484	0.037	0.189	0	1
異性の紹介・出会い 3 (同僚から)	484	0.165	0.372	0	1
異性の紹介・出会い 4 (職場以外の友人から)	484	0.349	0.477	0	1
異性の紹介・出会い 5 (家族や親せきから)	484	0.132	0.339	0	1
異性の紹介・出会い 6 (事業者等のイベント)	484	0.079	0.269	0	1
異性の紹介・出会い 7 (お見合い)	484	0.058	0.234	0	1
結婚サービスの利用 1 (結婚相談所)	489	0.016	0.127	0	1
結婚サービスの利用 2 (事業者のマッチングサービス)	489	0.031	0.173	0	1
結婚サービスの利用 3 (ネットのマッチングサービス)	489	0.010	0.101	0	1
結婚サービスの利用 4 (自治体、NPOの出会い事業)	489	0.014	0.119	0	1
結婚サービスの利用 5 (所属企業の紹介サービス)	489	0.002	0.045	0	1
結婚サービスの利用 6 (出会い系サイト)	489	0.035	0.183	0	1
結婚サービスの利用 7 (出会い目的のパーティーやイベント)	489	0.084	0.277	0	1
結婚サービスの利用 8 (モチベーションを高めるカウンセリング)	489	0.002	0.045	0	1
結婚サービスの利用 9 (付き合い方、魅力アップのカウンセリング)	489	0.002	0.045	0	1
同様経験	493	0.197	0.398	0	1

図表4 記述統計3 (既婚者)

	N	平均値	標準偏差	最小値	最大値
年齢	468	25.615	3.393	20	41
年齢2乗	468	667.637	191.171	400	1681
本人学歴 (大卒以上)	462	0.210	0.408	0	1
背が低い	464	0.147	0.354	0	1
肥満	464	0.151	0.358	0	1
容姿悪い	457	0.173	0.379	0	1
健康悪い	464	0.063	0.242	0	1
持病あり	460	0.063	0.243	0	1
金融資産 (万円)	440	163.952	506.130	0	10000
借入金 (万円)	457	13.643	113.980	0	2000
実物資産 (万円)	455	16.224	175.469	0	3000
月当たり生活費	433	9.850	9.761	0	182
自分でできる家事1 (掃除)	466	0.779	0.415	0	1
自分でできる家事2 (洗濯)	466	0.788	0.409	0	1
自分でできる家事3 (食事)	466	0.515	0.500	0	1
自分でできる家事4 (食器洗い)	466	0.891	0.313	0	1
自分でできる家事5 (買い物)	466	0.803	0.398	0	1
自分でできる家事6 (整理整頓)	466	0.599	0.491	0	1
自分でできる家事7 (アイロンかけ)	466	0.609	0.488	0	1
自分でできる家事8 (育児)	466	0.103	0.304	0	1
自分でできる家事9 (ゴミ分別)	466	0.524	0.500	0	1
自分でできる家事10 (子供の送迎)	466	0.120	0.326	0	1
自分でできる家事11 (介護)	466	0.052	0.221	0	1
習慣1 (喫煙)	463	0.222	0.416	0	1
習慣2 (飲酒)	463	0.296	0.457	0	1
習慣3 (競馬・競輪などのギャンブル)	463	0.017	0.130	0	1
習慣4 (パチンコ・パチスロ)	463	0.052	0.222	0	1
習慣5 (浮気癖)	463	0.015	0.122	0	1
習慣6 (虚言癖)	463	0.013	0.113	0	1
習慣7 (借金癖)	463	0.009	0.093	0	1
習慣8 (浪費癖)	463	0.071	0.258	0	1
習慣9 (ケチ)	463	0.052	0.222	0	1
本人職種1 (正規職員)	458	0.642	0.480	0	1
本人職種2 (パート・アルバイト)	458	0.083	0.276	0	1
本人職種3 (派遣・嘱託・契約社員)	458	0.096	0.295	0	1
本人職種4 (自営業・家族従事者・内職)	458	0.013	0.114	0	1
本人職種5 (無職・家事)	458	0.011	0.104	0	1
本人職種6 (学生)	458	0.155	0.362	0	1
月当たり収入 (税込)	451	17.313	15.219	0	221
当該の仕事の継続年数	467	2.814	2.653	0	16
仕事の経験年数	466	3.363	3.183	0	17
週当たり労働時間	466	33.124	21.257	0	90
往復通勤時間	468	0.760	0.740	0	5
夜7時以降、朝9時以前の就業時間 (週当たり)	462	4.053	5.648	0	20
育児取得環境良い	466	0.135	0.342	0	1
職場の制度1 (短時間勤務)	466	0.071	0.257	0	1
職場の制度2 (時差出勤)	466	0.086	0.280	0	1
職場の制度3 (育児休職)	466	0.253	0.435	0	1
職場の制度4 (再雇用制度)	466	0.056	0.230	0	1
職場の制度5 (フレックスタイム)	466	0.088	0.284	0	1
職場の制度6 (在宅勤務)	466	0.000	0.000	0	0



日本人女性の独身者と既婚者を分かつものは何か？  
 - 独身者データと既婚者の振り返りデータによる結婚の決定要因の分析 - (鈴木)

続き

	N	平均値	標準偏差	最小値	最大値
父親の年齢	468	68.799	7.258	50	88
母親の年齢	464	65.647	6.551	46	84
父親職種 1 (正規職員)	450	0.584	0.493	0	1
父親職種 2 (パート・アルバイト)	450	0.009	0.094	0	1
父親職種 3 (派遣・嘱託・契約社員)	450	0.040	0.196	0	1
父親職種 4 (自営業・家族従事者・内職)	450	0.269	0.444	0	1
父親職種 5 (無職・家事)	450	0.033	0.180	0	1
父親職種 6 (学生)	450	0.000	0.000	0	0
母親職種 1 (正規職員)	455	0.193	0.395	0	1
母親職種 2 (パート・アルバイト)	455	0.246	0.431	0	1
母親職種 3 (派遣・嘱託・契約社員)	455	0.020	0.139	0	1
母親職種 4 (自営業・家族従事者・内職)	455	0.193	0.395	0	1
母親職種 5 (無職・家事)	455	0.321	0.467	0	1
母親職種 6 (学生)	455	0.000	0.000	0	0
父親学歴 (大卒以上)	468	0.220	0.415	0	1
母親学歴 (大卒以上)	468	0.056	0.229	0	1
父親年収 (税込、年金含む)	399	556.266	352.751	0	1500
母親年収 (税込、年金含む)	398	148.744	177.554	0	1250
親と同居	468	0.776	0.418	0	1
兄弟の数	468	1.378	0.848	0	8
父親離婚経験	467	0.058	0.234	0	1
母親離婚経験	463	0.058	0.235	0	1
両親恋愛結婚	466	0.496	0.501	0	1
18歳時点で片親もしくは両親なし	468	0.071	0.256	0	1
18歳時点で両親の仲が非常に良い	468	0.239	0.427	0	1
18歳時点で貧しい(中の下以下)	468	0.293	0.456	0	1
18歳時点で持ち家居住	466	0.800	0.400	0	1
相手の条件を非常に重視 1 (年収)	466	0.058	0.234	0	1
相手の条件を非常に重視 2 (就業形態)	467	0.456	0.499	0	1
相手の条件を非常に重視 3 (学歴)	467	0.088	0.283	0	1
相手の条件を非常に重視 4 (年齢)	466	0.073	0.260	0	1
相手の条件を非常に重視 5 (身長)	467	0.073	0.260	0	1
相手の条件を非常に重視 6 (体型)	467	0.084	0.277	0	1
相手の条件を非常に重視 7 (容姿)	463	0.048	0.213	0	1
相手の条件を非常に重視 8 (性格)	467	0.809	0.393	0	1
相手の条件を非常に重視 9 (趣味の一致)	467	0.221	0.415	0	1
相手の条件を非常に重視10 (親の同居についての意向)	466	0.354	0.479	0	1
相手の条件を非常に重視11 (健康状態)	467	0.552	0.498	0	1
希望子供数	457	2.070	0.861	0	5
交際環境 1 (よく話をする独身の異性数)	464	2.906	1.774	0	6
交際環境 2 (毎日顔を合わせる独身の異性数)	466	3.943	2.107	0	6
交際環境 3 (独身の異性と親しくなるきっかけ多い)	466	0.444	0.497	0	1
交際環境 4 (職場や学校以外で独身の異性と会う機会多い)	466	0.328	0.470	0	1
交際環境 5 (交際や恋愛について気軽に相談できる人の数)	466	2.716	1.543	0	6
交際環境 6 (異性紹介やお見合いを勧める人の数)	465	1.251	1.510	0	6
異性の紹介・出会い 1 (上司から)	460	0.076	0.265	0	1
異性の紹介・出会い 2 (取引先から)	460	0.050	0.218	0	1
異性の紹介・出会い 3 (同僚から)	460	0.202	0.402	0	1
異性の紹介・出会い 4 (職場以外の友人から)	460	0.339	0.474	0	1
異性の紹介・出会い 5 (家族や親せきから)	460	0.120	0.325	0	1
異性の紹介・出会い 6 (事業者等のイベント)	460	0.057	0.231	0	1
異性の紹介・出会い 7 (お見合い)	460	0.061	0.239	0	1
結婚サービスの利用 1 (結婚相談所)	460	0.022	0.146	0	1
結婚サービスの利用 2 (事業者のマッチングサービス)	460	0.007	0.081	0	1
結婚サービスの利用 3 (ネットのマッチングサービス)	460	0.000	0.000	0	0
結婚サービスの利用 4 (自治体、NPOの出会い事業)	460	0.002	0.047	0	1
結婚サービスの利用 5 (所属企業の紹介サービス)	460	0.002	0.047	0	1
結婚サービスの利用 6 (出会い系サイト)	460	0.009	0.093	0	1
結婚サービスの利用 7 (出会い目的のパーティーやイベント)	460	0.078	0.269	0	1
結婚サービスの利用 8 (モチベーションを高めるカウンセリング)	460	0.000	0.000	0	0
結婚サービスの利用 9 (付き合い方、魅力アップのカウンセリング)	460	0.000	0.000	0	0
同棲経験	456	0.175	0.381	0	1

図表5 外見などの自己評価

	独身	既婚
背が低い	0.217	0.147
肥満	0.276	0.151
容姿悪い	0.263	0.173
健康悪い	0.100	0.063
持病あり	0.134	0.063

図表6 悪い習慣

	独身	既婚
習慣1 (喫煙)	0.144	0.222
習慣2 (飲酒)	0.267	0.296
習慣3 (競馬・競輪などのギャンブル)	0.008	0.017
習慣4 (パチンコ・パチスロ)	0.045	0.052
習慣5 (浮気癖)	0.012	0.015
習慣6 (虚言癖)	0.014	0.013
習慣7 (借金癖)	0.008	0.009
習慣8 (浪費癖)	0.140	0.071
習慣9 (ケチ)	0.144	0.052

図表7 職種

	独身	既婚
本人職種1 (正規職員)	0.492	0.642
本人職種2 (パート・アルバイト)	0.095	0.083
本人職種3 (派遣・嘱託・契約社員)	0.143	0.096
本人職種4 (自営業・家族従事者・内職)	0.021	0.013
本人職種5 (無職・家事)	0.054	0.011
本人職種6 (学生)	0.195	0.155

日本人女性の独身者と既婚者を分かつものは何か？  
 - 独身者データと既婚者の振り返りデータによる結婚の決定要因の分析 - (鈴木)

図表8 機会費用関係

	独身	既婚
本人学歴（大卒以上）	0.555	0.210
月当たり収入（税込、万円）	18.7	17.3
月当たり生活費（万円）	11.9	9.8
当該の仕事の継続年数	3.48	2.81
仕事の経験年数	6.10	3.36
金融資産（万円）	225.1	164.0
借入金（万円）	36.3	13.6
実物資産（万円）	51.6	16.2
父親年収（税込、年金含む、万円）	519.1	556.3
母親年収（税込、年金含む、万円）	155.6	148.7
親と同居	0.607	0.776

図表9 時間の制約

	独身	既婚
週当たり労働時間	28.0	33.1
往復通勤時間	0.692	0.760
夜7時以降、朝9時以前の就業時間（週当たり）	4.104	4.053

図表10 相手への条件等

	独身	既婚
相手の条件を非常に重視1（年収）	0.130	0.058
相手の条件を非常に重視2（就業形態）	0.473	0.456
相手の条件を非常に重視3（学歴）	0.061	0.088
相手の条件を非常に重視4（年齢）	0.071	0.073
相手の条件を非常に重視5（身長）	0.065	0.073
相手の条件を非常に重視6（体型）	0.084	0.084
相手の条件を非常に重視7（容姿）	0.037	0.048
相手の条件を非常に重視8（性格）	0.839	0.809
相手の条件を非常に重視9（趣味の一致）	0.226	0.221
相手の条件を非常に重視10（親の同居についての意向）	0.364	0.354
相手の条件を非常に重視11（健康状態）	0.587	0.552
希望子供数	1.837	2.070

図表11 デモンストレーション効果

	独身	既婚
父親離婚経験	0.076	0.058
母親離婚経験	0.072	0.058
両親恋愛結婚	0.490	0.496
18歳時点で両親の仲が非常に良い	0.229	0.239

図表12 職場環境

	独身	既婚
育休取得環境良い	0.232	0.135
職場の制度1（短時間勤務）	0.172	0.071
職場の制度2（時差出勤）	0.134	0.086
職場の制度3（育児休職）	0.355	0.253
職場の制度4（再雇用制度）	0.158	0.056
職場の制度5（フレックスタイム）	0.085	0.088
職場の制度6（在宅勤務）	0.014	0.000



日本人女性の独身者と既婚者を分かつものは何か？  
 - 独身者データと既婚者の振り返りデータによる結婚の決定要因の分析 - (鈴木)

図表13 交際環境

	独身	既婚
交際環境 1 (よく話をする独身の異性数)	2.81	2.91
交際環境 2 (毎日顔を合わせる独身の異性数)	3.10	3.94
交際環境 3 (独身の異性と親しくなるきっかけ多い)	0.231	0.444
交際環境 4 (職場や学校以外で独身の異性と会う機会多い)	0.150	0.328
交際環境 5 (交際や恋愛について気軽に相談できる人の数)	3.02	2.72
交際環境 6 (異性紹介やお見合いを勧める人の数)	1.28	1.25

図表14 異性の紹介・出会い

	独身	既婚
異性の紹介・出会い 1 (上司から)	0.048	0.076
異性の紹介・出会い 2 (取引先から)	0.037	0.050
異性の紹介・出会い 3 (同僚から)	0.165	0.202
異性の紹介・出会い 4 (職場以外の友人から)	0.349	0.339
異性の紹介・出会い 5 (家族や親せきから)	0.132	0.120
異性の紹介・出会い 6 (事業者等のイベント)	0.079	0.057
異性の紹介・出会い 7 (お見合い)	0.058	0.061

図表15 結婚サービスの利用

	独身	既婚
結婚サービスの利用 1 (結婚相談所)	0.016	0.022
結婚サービスの利用 2 (事業者のマッチングサービス)	0.031	0.007
結婚サービスの利用 3 (ネットのマッチングサービス)	0.010	0.000
結婚サービスの利用 4 (自治体、NPOの出会い事業)	0.014	0.002
結婚サービスの利用 5 (所属企業の紹介サービス)	0.002	0.002
結婚サービスの利用 6 (出会い系サイト)	0.035	0.009
結婚サービスの利用 7 (出会い目的のパーティーやイベント)	0.084	0.078
結婚サービスの利用 8 (モチベーションを高めるカウンセリング)	0.002	0.000
結婚サービスの利用 9 (付き合い方、魅力アップのカウンセリング)	0.002	0.000

図表16 推定結果1 (人口ウェイト調整)

	係数	標準誤差	限界効果	標準誤差
年齢	0.7963 ***	0.2736	0.0480 ***	0.0161
年齢2乗	-0.0180 ***	0.0047	-0.0011 ***	0.0003
背が低い	0.3298	0.3883	0.0199	0.0235
肥満	-1.4303 ***	0.3840	-0.0862 ***	0.0234
容姿悪い	-0.5823 *	0.3512	-0.0351 *	0.0211
健康悪い	0.7150	0.5003	0.0431	0.0299
持病あり	-0.9657 *	0.5561	-0.0582 *	0.0336
自分でできる家事1 (掃除)	0.7795 **	0.3699	0.0470 **	0.0228
自分でできる家事2 (洗濯)	-1.0668 **	0.4429	-0.0643 **	0.0270
自分でできる家事3 (食事)	0.4427	0.2836	0.0267	0.0171
自分でできる家事4 (食器洗い)	0.2405	0.5669	0.0145	0.0341
自分でできる家事5 (買い物)	-0.3994	0.4721	-0.0241	0.0286
自分でできる家事6 (整理整頓)	0.2968	0.3238	0.0179	0.0192
自分でできる家事7 (アイロンかけ)	0.7999 **	0.3151	0.0482 **	0.0192
自分でできる家事8 (育児)	-1.3989 ***	0.4606	-0.0843 ***	0.0275
自分でできる家事9 (ゴミ分別)	-0.3189	0.3525	-0.0192	0.0210
自分でできる家事10 (子供の送迎)	-0.8400 **	0.4126	-0.0506 **	0.0240
自分でできる家事11 (介護)	-1.3337 **	0.6400	-0.0804 **	0.0378
習慣1 (喫煙)	0.7926 **	0.3563	0.0478 **	0.0208
習慣2 (飲酒)	-0.5518 **	0.2752	-0.0333 **	0.0168
習慣4 (パチンコ・パチスロ)	-1.6061 **	0.5537	-0.0968 ***	0.0337
習慣5 (浮気癖)	2.8394 **	1.1840	0.1712 **	0.0699
習慣6 (虚言癖)	-0.3086	1.3450	-0.0186	0.0808
習慣7 (借金癖)	1.5618	1.1432	0.0941	0.0675
習慣8 (浪費癖)	0.2762	0.3998	0.0166	0.0241
習慣9 (ケチ)	-0.8193 *	0.4709	-0.0494 *	0.0283
本人職種1 (正規職員)	2.9203 ***	0.9730	0.1760 ***	0.0597
本人職種2 (パート・アルバイト)	2.2475 ***	0.8499	0.1355 ***	0.0529
本人職種3 (派遣・嘱託・契約社員)	2.0237 **	0.9159	0.1220 **	0.0566
本人職種4 (自営業・家族従事者・内職)	0.6459	1.2689	0.0389	0.0772
本人学歴 (大卒以上)	-1.9144 ***	0.3143	-0.1154 ***	0.0197
月当たり収入 (税込)	-0.0035	0.0054	-0.0002	0.0003
当該の仕事の継続年数	-0.3107 ***	0.0660	-0.0187 ***	0.0040
金融資産 (万円)	-0.000353	0.000296	-0.000021	0.000018
借入金 (万円)	-0.000137	0.000992	-0.000008	0.000060
実物資産 (万円)	-0.000083	0.000869	-0.000005	0.000052
週当たり労働時間	-0.0122	0.0150	-0.0007	0.0009
往復通勤時間	-0.6671 ***	0.2058	-0.0402 ***	0.0121
夜7時以降、朝9時以前の就業時間 (週当たり)	-0.1024 ***	0.0307	-0.0062 ***	0.0017
育休取得環境良い	1.0610 **	0.4475	0.0640 **	0.0263
職場の制度1 (短時間勤務)	-1.2196 ***	0.4759	-0.0735 **	0.0289
職場の制度2 (時差出勤)	-0.1784	0.4401	-0.0108	0.0265
職場の制度3 (育児休職)	-0.4527	0.4069	-0.0273	0.0244
職場の制度4 (再雇用制度)	-1.1970 ***	0.4590	-0.0722 ***	0.0276
職場の制度5 (フレックスタイム)	-0.2358	0.4940	-0.0142	0.0299

日本人女性の独身者と既婚者を分かつものは何か？  
 - 独身者データと既婚者の振り返りデータによる結婚の決定要因の分析 - (鈴木)

続き

	係数	標準誤差	限界効果	標準誤差
父親の年齢	0.3014 ***	0.0533	0.0182 ***	0.0030
母親の年齢	0.1589 ***	0.0560	0.0096 ***	0.0034
父親職種 1 (正規職員)	0.5798	0.4530	0.0350	0.0274
父親職種 2 (パート・アルバイト)	-0.7633	1.0978	-0.0460	0.0667
父親職種 3 (派遣・嘱託・契約社員)	0.4738	0.6205	0.0286	0.0374
父親職種 4 (自営業・家族従事者・内職)	-0.2906	0.6447	-0.0175	0.0389
母親職種 1 (正規職員)	0.5516	0.5157	0.0333	0.0314
母親職種 2 (パート・アルバイト)	0.1517	0.4036	0.0091	0.0243
母親職種 3 (派遣・嘱託・契約社員)	0.3548	0.7576	0.0214	0.0457
母親職種 4 (自営業・家族従事者・内職)	-0.0659	0.5534	-0.0040	0.0333
父親学歴 (大卒以上)	-0.8597 ***	0.2987	-0.0518 ***	0.0176
母親学歴 (大卒以上)	-0.8074	0.5520	-0.0487	0.0337
父親年収 (税込、年金含む)	0.0018 ***	0.0006	0.0001 ***	0.0000
母親年収 (税込、年金含む)	-0.0004	0.0009	0.0000	0.0001
親と同居	0.6538 *	0.3428	0.0394 *	0.0207
兄弟の数	-0.2053	0.1656	-0.0124	0.0102
父親離婚経験	-0.0247	0.7266	-0.0015	0.0438
母親離婚経験	-1.4901 *	0.8557	-0.0898 *	0.0517
両親恋愛結婚	1.7377 ***	0.3605	0.1047 ***	0.0210
18歳時点で片親もしくは両親なし	-0.0021	0.5808	-0.0001	0.0350
18歳時点で両親の仲が非常に良い	-0.0496	0.3076	-0.0030	0.0186
18歳時点で貧しい(中の以下)	-0.0169	0.3384	-0.0010	0.0204
18歳時点で持ち家居住	-0.9363 **	0.4055	-0.0564 **	0.0232
相手の条件を非常に重視 1 (年収)	-1.0045 **	0.4604	-0.0606 **	0.0286
相手の条件を非常に重視 2 (就業形態)	-0.0590	0.3389	-0.0036	0.0204
相手の条件を非常に重視 3 (学歴)	1.2864 **	0.5384	0.0775 **	0.0336
相手の条件を非常に重視 4 (年齢)	0.5411	0.5409	0.0326	0.0323
相手の条件を非常に重視 5 (身長)	-1.3025 *	0.7576	-0.0785 *	0.0447
相手の条件を非常に重視 6 (体型)	-0.7458	0.6054	-0.0450	0.0370
相手の条件を非常に重視 7 (容姿)	0.5375	0.7871	0.0324	0.0474
相手の条件を非常に重視 8 (性格)	0.2681	0.3299	0.0162	0.0196
相手の条件を非常に重視 9 (趣味の一致)	-0.3772	0.3101	-0.0227	0.0183
相手の条件を非常に重視10 (親の同居についての意向)	-0.2406	0.3087	-0.0145	0.0186
相手の条件を非常に重視11 (健康状態)	-0.4917 *	0.2819	-0.0296 *	0.0169
希望子供数	0.2599 *	0.1580	0.0157 *	0.0092
交際環境 1 (よく話をする独身の異性数)	-0.1332	0.0812	-0.0080	0.0050
交際環境 2 (毎日顔を合わせる独身の異性数)	0.1393 **	0.0674	0.0084 **	0.0040
交際環境 3 (独身の異性と親しくなるきっかけ多い)	0.0869	0.3849	0.0052	0.0232
交際環境 4 (職場や学校以外で独身の異性と会う機会多い)	1.7092 ***	0.4429	0.1030 ***	0.0269
交際環境 5 (交際や恋愛について気軽に相談できる人の数)	-0.0720	0.0882	-0.0043	0.0053
交際環境 6 (異性紹介やお見合いを勧める人の数)	-0.3565 ***	0.1053	-0.0215 ***	0.0063
異性の紹介・出会い 1 (上司から)	-0.5678	0.5836	-0.0342	0.0352
異性の紹介・出会い 2 (取引先から)	0.8168	0.8974	0.0492	0.0541
異性の紹介・出会い 3 (同僚から)	0.4193	0.3674	0.0253	0.0218
異性の紹介・出会い 4 (職場以外の友人から)	-0.3334	0.3107	-0.0201	0.0188
異性の紹介・出会い 5 (家族や親せきから)	0.8038	0.5044	0.0485	0.0299
異性の紹介・出会い 6 (事業者等のイベント)	-0.6392	0.7941	-0.0385	0.0482
異性の紹介・出会い 7 (お見合い)	-0.2981	1.0701	-0.0180	0.0647
結婚サービスの利用 1 (結婚相談所)	-0.9396	0.9529	-0.0566	0.0573
結婚サービスの利用 2 (事業者のマッチングサービス)	0.8378	0.8883	0.0505	0.0531
結婚サービスの利用 4 (自治体、NPOの出会い事業)	-0.7010	0.8695	-0.0423	0.0514
結婚サービスの利用 6 (出会い系サイト)	-1.9970 **	0.8098	-0.1204 **	0.0477
結婚サービスの利用 7 (出会い目的のパーティーやイベント)	0.2734	0.5420	0.0165	0.0328
同棲経験	1.6224 ***	0.4039	0.0978 ***	0.0250
定数	-35.4747 ***	5.2362		

(注) プロビットモデルによる推定。2010年の国勢調査より、都道府県別の未婚率・既婚率を使ってウェイトを修正。N = 577。Pseudo R2は0.8021。

\*\*\*が1%基準で有意、\*\*が5%基準で有意、\*が10%基準で有意である。

図表17 推定結果2 (ロバスト推定)

	係数	標準誤差	限界効果	標準誤差
年齢	0.7539 ***	0.2928	0.0545 ***	0.0207
年齢2乗	-0.0173 ***	0.0050	-0.0012 ***	0.0003
背が低い	0.2585	0.4186	0.0187	0.0305
肥満	-1.2566 ***	0.3782	-0.0909 ***	0.0275
容姿悪い	-0.6713 *	0.3802	-0.0486 *	0.0271
健康悪い	0.5973	0.4914	0.0432	0.0354
持病あり	-1.0172 *	0.5503	-0.0736 *	0.0398
自分でできる家事1 (掃除)	0.9291 **	0.3897	0.0672 **	0.0281
自分でできる家事2 (洗濯)	-1.1889 **	0.4654	-0.0860 **	0.0330
自分でできる家事3 (食事)	0.3667	0.2885	0.0265	0.0208
自分でできる家事4 (食器洗い)	0.1080	0.5578	0.0078	0.0403
自分でできる家事5 (買い物)	-0.3874	0.4210	-0.0280	0.0306
自分でできる家事6 (整理整頓)	0.1225	0.3150	0.0089	0.0227
自分でできる家事7 (アイロンかけ)	0.8481 **	0.3328	0.0613 *	0.0240
自分でできる家事8 (育児)	-1.5273 ***	0.4929	-0.1105 ***	0.0337
自分でできる家事9 (ゴミ分別)	-0.2369	0.3137	-0.0171	0.0225
自分でできる家事10 (子供の送迎)	-0.6911 *	0.3943	-0.0500 *	0.0281
自分でできる家事11 (介護)	-1.2722 **	0.6357	-0.0920 **	0.0450
習慣1 (喫煙)	0.7224 **	0.3563	0.0523 **	0.0252
習慣2 (飲酒)	-0.5244 **	0.2556	-0.0379 **	0.0185
習慣4 (パチンコ・パチスロ)	-1.3573 ***	0.5229	-0.0982 **	0.0387
習慣5 (浮気癖)	2.4989 **	1.1215	0.1808 **	0.0791
習慣6 (虚言癖)	0.0651	1.1979	0.0047	0.0867
習慣7 (借金癖)	1.3492	1.1736	0.0976	0.0832
習慣8 (浪費癖)	0.3275	0.3975	0.0237	0.0288
習慣9 (ケチ)	-0.5102	0.4808	-0.0369	0.0351
本人職種1 (正規職員)	2.5325 ***	0.9752	0.1832 **	0.0719
本人職種2 (パート・アルバイト)	1.9738 **	0.8182	0.1428 **	0.0608
本人職種3 (派遣・嘱託・契約社員)	1.5537 *	0.9130	0.1124 *	0.0680
本人職種4 (自営業・家族従事者・内職)	0.4301	1.3645	0.0311	0.0993
本人学歴 (大卒以上)	-1.8484 ***	0.3274	-0.1337 ***	0.0235
月当たり収入 (税込)	-0.0058	0.0093	-0.0004	0.0007
当該の仕事の継続年数	-0.2915 ***	0.0636	-0.0211 ***	0.0045
金融資産 (万円)	-0.000308	0.000266	-0.000022	0.000019
借入金 (万円)	0.000119	0.000922	0.000009	0.000067
実物資産 (万円)	-0.000326	0.000757	-0.000024	0.000055
週当たり労働時間	-0.0031	0.0153	-0.0002	0.0011
往復通勤時間	-0.6219 ***	0.2126	-0.0450 ***	0.0150
夜7時以降、朝9時以前の就業時間 (週当たり)	-0.1102 ***	0.0317	-0.0080 ***	0.0020
育休取得環境良い	1.1188 **	0.4493	0.0809 **	0.0312
職場の制度1 (短時間勤務)	-1.0183 **	0.4376	-0.0737 **	0.0320
職場の制度2 (時差出勤)	-0.3930	0.4718	-0.0284	0.0338
職場の制度3 (育児休職)	-0.4015	0.3877	-0.0290	0.0279
職場の制度4 (再雇用制度)	-1.2963 ***	0.4814	-0.0938 ***	0.0342
職場の制度5 (フレックスタイム)	-0.2460	0.4869	-0.0178	0.0354

日本人女性の独身者と既婚者を分かつものは何か？  
 - 独身者データと既婚者の振り返りデータによる結婚の決定要因の分析 - (鈴木)

続き

	係数	標準誤差	限界効果	標準誤差
父親の年齢	0.3123 ***	0.0567	0.0226 ***	0.0037
母親の年齢	0.1459 ***	0.0509	0.0106 ***	0.0037
父親職種 1 (正規職員)	0.7682 *	0.4393	-0.0556 *	0.0312
父親職種 2 (パート・アルバイト)	-0.3515	1.2007	-0.0254	0.0873
父親職種 3 (派遣・嘱託・契約社員)	0.4515	0.6250	0.0327	0.0450
父親職種 4 (自営業・家族従事者・内職)	0.0463	0.6215	0.0033	0.0449
母親職種 1 (正規職員)	0.7079	0.4784	0.0512	0.0347
母親職種 2 (パート・アルバイト)	0.3110	0.3954	0.0225	0.0284
母親職種 3 (派遣・嘱託・契約社員)	0.6663	0.7595	0.0482	0.0548
母親職種 4 (自営業・家族従事者・内職)	-0.1404	0.5466	-0.0102	0.0394
父親学歴 (大卒以上)	-0.8100 ***	0.3052	-0.0586 ***	0.0216
母親学歴 (大卒以上)	-0.9919 *	0.5593	-0.0718 *	0.0406
父親年収 (税込、年金含む)	0.0018 ***	0.0005	0.0001 ***	0.0000
母親年収 (税込、年金含む)	-0.0006	0.0008	0.0000	0.0001
親と同居	0.5806 *	0.3809	0.0420 *	0.0275
兄弟の数	-0.2121	0.1573	-0.0153	0.0116
父親離婚経験	-0.0930	0.7869	-0.0067	0.0569
母親離婚経験	-1.6386 *	0.9513	-0.1185 *	0.0688
両親恋愛結婚	1.7506 ***	0.3345	0.1266 ***	0.0220
18歳時点で片親もしくは両親なし	0.2138	0.5611	0.0155	0.0405
18歳時点で両親の仲が非常に良い	0.0773	0.3297	0.0056	0.0238
18歳時点で貧しい(中の下以下)	0.0895	0.3304	0.0065	0.0239
18歳時点で持ち家居住	-0.8836 **	0.4395	-0.0639 **	0.0306
相手の条件を非常に重視 1 (年収)	-1.1625 **	0.4828	-0.0841 **	0.0352
相手の条件を非常に重視 2 (就業形態)	-0.0738	0.3539	-0.0053	0.0256
相手の条件を非常に重視 3 (学歴)	1.5084 ***	0.5292	0.1091 ***	0.0388
相手の条件を非常に重視 4 (年齢)	0.4642	0.5224	0.0336	0.0375
相手の条件を非常に重視 5 (身長)	-0.8737 *	0.7176	-0.0632 *	0.0514
相手の条件を非常に重視 6 (体型)	-0.8387	0.5738	-0.0607	0.0422
相手の条件を非常に重視 7 (容姿)	0.5029	0.7115	0.0364	0.0514
相手の条件を非常に重視 8 (性格)	0.1937	0.3358	0.0140	0.0241
相手の条件を非常に重視 9 (趣味の一致)	-0.4151	0.3224	-0.0300	0.0227
相手の条件を非常に重視10 (親の同居についての意向)	-0.1852	0.3146	-0.0134	0.0227
相手の条件を非常に重視11 (健康状態)	-0.4897 *	0.2860	-0.0354 *	0.0205
希望子供数	0.3126 *	0.1652	0.0226 **	0.0114
交際環境 1 (よく話をする独身の異性数)	-0.1245	0.0837	-0.0090	0.0061
交際環境 2 (毎日顔を合わせる独身の異性数)	0.1275 *	0.0678	0.0092 *	0.0048
交際環境 3 (独身の異性と親しくなるきっかけ多い)	0.2371	0.3711	0.0172	0.0268
交際環境 4 (職場や学校以外で独身の異性と会う機会多い)	1.7068 ***	0.4199	0.1235 ***	0.0295
交際環境 5 (交際や恋愛について気軽に相談できる人の数)	-0.1037	0.0939	-0.0075	0.0066
交際環境 6 (異性紹介やお見合いを勧める人の数)	-0.3191 ***	0.1087	-0.0231 ***	0.0078
異性の紹介・出会い 1 (上司から)	-0.4349	0.5723	-0.0315	0.0416
異性の紹介・出会い 2 (取引先から)	0.8213	0.8568	0.0594	0.0619
異性の紹介・出会い 3 (同僚から)	0.3721	0.3781	0.0269	0.0272
異性の紹介・出会い 4 (職場以外の友人から)	-0.2503	0.3454	-0.0181	0.0251
異性の紹介・出会い 5 (家族や親せきから)	0.7173	0.4907	0.0519	0.0351
異性の紹介・出会い 6 (事業者等のイベント)	-0.4239	0.8526	-0.0307	0.0620
異性の紹介・出会い 7 (お見合い)	-0.0565	1.1466	-0.0041	0.0830
結婚サービスの利用 1 (結婚相談所)	-0.7331	0.8903	-0.0530	0.0643
結婚サービスの利用 2 (事業者のマッチングサービス)	0.6363	0.9485	0.0460	0.0684
結婚サービスの利用 4 (自治体、NPOの出会い事業)	-0.2164	0.9210	-0.0157	0.0663
結婚サービスの利用 6 (出会い系サイト)	-1.4620 *	0.8352	-0.1058 *	0.0601
結婚サービスの利用 7 (出会い目的のパーティーやイベント)	0.2188	0.5397	0.0158	0.0392
同棲経験	1.5721 ***	0.3813	0.1137 ***	0.0277
定数	-35.6679 ***	5.6258		

(注) プロビットモデルによる推定。標準誤差はRobust standard errorを用いている。N = 577。Pseudo R2は 0.8138。

\*\*\*が1%基準で有意、\*\*が5%基準で有意、\*が10%基準で有意である。